

作成日：2018年11月15日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：バンバンカー[®]DMSOfree（DMSOフリー、血清フリーの細胞凍結保存液）

製造元：

会社名：株式会社GCリンフォテック

住所：東京都江東区冬木18-4

電話：03-3630-2530

FAX：03-3630-2531

E-mail：info@lymphotec.co.jp

販売元：

会社名：日本ジェネティクス株式会社

住所：東京都文京区後楽1-4-14後楽森ビル18階

電話：03-3813-0961

FAX：03-3813-0962

E-mail：info@genetics-n.co.jp

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

製品の本質 細胞凍結保存液

成分	含有量	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	PRTR対象
プロピレングリコール	20%	57-55-6	(2)-234	—

危険有害区分

該当なし

3. 危険有害性の要約

本製品には、物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性該当する物質を含んでいない。

4. 応急措置

吸入した場合

吸入による事故の場合は、負傷者を影響を受けた場所から新鮮な空気のところへ移す。
直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水と石けんで十分に洗い落とす。炎症を起こした時は医師の診察を受ける。

目に入った場合

清浄な水で15 分間十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。直ちに医師の診察を受ける。

5.火災時の措置

消火剤

火災の場合は霧状水、泡／耐アルコール泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。

火災時の措置に関する特有の危険有害性

火災の際、熱分解又は燃焼により刺激性及び有害性のガスが発生するおそれがある。
燃焼の際に生成する有毒な煙、蒸気またはガス：一酸化炭素および二酸化炭素を生成する可能性がある。

消火を行う者の保護

消火作業を行う者は、適切な保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気する。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして立ち入りを禁ずる。作業の際は必要な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

除去方法

火気厳禁とし、漏出した液は少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。

保管

2～10°Cで保管する。

8.曝露防止及び保護措置

設備対策

屋内で使用する場合は発生源を密閉化する若しくは局所排気装置を設置する。

管理濃度 作業環境評価基準

設定されていない。

暴露限界

本製品には、職業暴露限界値が定められた危険有害な物質を含まない。

呼吸器の保護具

保護マスクを着用する。

手の保護具

ゴム製手袋を着用する。

眼の保護具

保護メガネまたはゴーグルを着用する。

皮膚の保護具

保護衣を着用する。

9.安定性及び反応性

安定性

推奨保管条件下では安定。

混触危険物質

通常使用条件下では危険な反応は知られていない。

危険有害な分解生成物

通常使用条件下ではない。

危険有害反応可能性

通常条件下では危険有害な反応は起こらない。

避けるべき条件

高温と直射日光を避ける。

10.物理的及び化学的性質

形状 黄色澄明な液体

におい わずかに特異な臭いがある。

pH 7.0～7.7

沸点 データなし

融点 データなし

引火点 データなし

可燃性 データなし

分解温度 データなし

爆発限界 データなし
蒸気圧 データなし
比重 データなし
溶解性 水に溶解

11.有害性情報

データなし

12.環境影響情報

データなし

13.廃棄上の注意

地方自治体の規定に従って処分する。

14.適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS —

TSCA —

国内法規

消防法 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 非該当

化審法 非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則 非該当

航空法 非該当

海洋汚染防止法 非該当

化学物質管理促進法(PRTR法) 非該当

水質汚濁法 非該当

火薬取締法 非該当

高圧ガス保安法 非該当

15.輸送上の注意

国連番号 非該当

国連分類 非該当

海洋汚染物質 非該当

16.その他の情報

本製品は、第1種及び第2種指定化学物質に該当する成分を含有しておりません。ただし危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。また現時点での最新の情報を記載していますが、全ての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であって、いかなる保証をなすものではありません。記載内容は、通常の見取り方を対象としたものであって、他の物質と組み合わせるなど、特殊な取扱いをする場合は、使用環境に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。